

項目	自己評価	中・長期経営目標	短期経営目標	主な取組内容	取組内容の評価指標
確かな学力		○自分の思いや考えを表現できる児童の育成	①基礎基本の定着を図る。 ②自分の意見を持ち、表現できる子どもを育てる。	<p>学力向上のための組織的な校内研修体制づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習部を組織し、国語科、外国語活動を通して、「伝え合う力」を育成する。</li> <li>・各学年が年間1回以上研究授業を行い、そのうち3回以上は講師を招待する。</li> <li>・外国語委員会を学期別に設定し、毎週A.L.Tと活動する。</li> <li>・学力調査等の分析をし、学校全体での対策を講じる。(学力分析のPDCAサイクルを回す)</li> <li>・ノート指導を徹底し、自分の考えや解法を整理できて書くことに慣れさせる。</li> <li>・学習のきまり」「学習の心がまえ」を再確認し、取組に配慮する。また、各学科に発信し、授業での探究活動に努める。</li> <li>・「香美市授業スタンダード」を徹底する。</li> <li>・外国語授業改善のための東部教育事務所よりパイロットプランの支援を受ける。</li> </ul> <p>子どもにわかる授業づくり(授業づくりスタンダードの活用など)</p> <p>学校全体で予習・復習(宿題)の質と量を高める取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校評価アンケートにおいて「外国語活動が楽しい」「やや楽しい」と回答する児童を80％以上にする。</li> <li>・県版学力調査の国語の記述問題の無答率をH24年度以下にする。</li> <li>・研究授業において香美市スタンダード、視覚支援を定直し、授業評価項目に取り入れて、評価し「香美市の授業スタンダードを意識して授業できている」(教員100％・学校評価)「授業はよくわかる」と回答する児童(80％以上・学校評価)</li> <li>・宿題提出率92.9％以上をめざす。</li> <li>・自主学習をする児童を高学年で90％以上にする。</li> </ul>
		○明るく思いやりのある子どもの育成	①道徳の時間、読書活動の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝の読書の継続</li> <li>・図書環境の整備</li> <li>・各学年おすめの本を選定し、読書に親しませる。</li> <li>・高知県ショートコメントコンテスト、読書感想文コンクールへの応募</li> <li>・道徳の時間の充実</li> <li>・道徳実践力の向上</li> <li>・道徳の時間の家庭・地域への啓発</li> <li>・意識調査の分析</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各学年の読書目標冊数を90％以上の児童が達成する。</li> <li>・ショートコメントコンテスト参加率を昨年以上にする。</li> <li>・香美市アンケート「自分にはよいところがある」(79%)「昨年よりもよくなるに努力した」(79%)「学校の決まりを守っている」(79%)について「そう思う」と回答する児童を80％以上に増加させる。</li> <li>・道徳の時間の全学年公開(100%)</li> </ul>
豊かな心		○全国レベルの体力・運動能力を身につけた児童の育成	①基本的な生活習慣を身につける。 ②運動の好きな児童を増加させる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育講習会の実施(基礎的な運動能力、水泳、バスケットボール)・運動を楽しむ環境作り(施設・体育会の実施、持久走など)を進める。校内に運動に関する掲示をして、児童に運動に関する情報提供をする</li> <li>・柔軟性を高める日常的な運動に取り組む。(ジャックナイフストレッチ)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育に関する講習会(校内研修及び児童対象研修会)を年間5回以上開催する。</li> <li>・「運動を運んでしている」と回答する児童を65％以上にする。</li> <li>・男子の体力のTスコアを向上させる。</li> </ul>
確かな体		○保護者・地域に開かれ、信頼される学校づくり	①PTAや地域との連携を密にし、学校運営への参画・協力を呼び掛ける。 ②外部の人材の活用を増加させる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参観日の日程変更をPTAと協議しながら行い、参加率を向上させる。</li> <li>・学校からの情報発信回数を増加させる。(学級通信、学校便り、ホームページの更新等)</li> <li>・開かれた学校づくり推進委員会や学校支援地域本部の取り組みを充実させた行事を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参観日参加率が90％以上にする。</li> <li>・学級通信、学校便りの発行を昨年以上にする。</li> <li>・ホームページの更新を毎月2回以上行う。</li> <li>・地域の方に協力してもらう行事を充実させる。</li> </ul>
特別支援教育		○一人ひとりの教育的ニーズに応じた支援体制づくり	①特別支援を要する児童の特性を理解し、具体的な対応を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援教育に関する研修を年間2回以上行う。</li> <li>・研究授業において視覚支援の評価項目を設定し、教職員が相互に評価し合い、ユニバーサルデザインの授業を増やす。</li> <li>・効果のある支援方法の記録を残す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援に関する研修を2回以上行う。</li> <li>・研究授業での評価項目「視覚支援」で平均3以上をめざす。</li> </ul>